



元 可愛い衣装に身を包んでご満悦 元気な子どもたちの成長を願い

3月3日（水）、トママ保育所でひな祭りが開催されました。

ひな祭りでは、お雛様の衣装に着替えた園児たちの記念撮影が行われました。「早く可愛い服着たいなあ。」と、女の子の園児は自分の番が待ち遠しい様子。ようやく自分の番になり、衣装に着替えて喜ぶ園児たちが大変微笑ましく、心が温まりました。

子どもたちが、病気やケガをせずに健やかに育つことを願って開催されたひな祭り。元気な子どもたちが、自然に囲まれたこの村で育っています。



ヒ 調査研究活動を活かしてヒグマと共に生きる ヒグマの近況を知り今後に

2月20日（土）、公民館自主創造プログラム「第3回占冠村ヒグマミーティング」が、占冠村コミュニティプラザ（字中央）、地域カフェ「ミナ・トママ」（字上トママ）、酪農学園大学（江別市）をオンライン会議システムでつないで、開催され、各会場合わせて38名が参加しました。村の担当者から村内のヒグマの近況などが報告されたほか、酪農学園大学が村内で実施した調査研究活動の成果報告がなされました。今回は規模を縮小した開催でしたが、今後も引き続き、村民への情報と知識の普及を進めていくことが期待されます。



黄 今、家にいる家族の安全確認を 黄色のタオルは無事の目印

本通行政区では、65歳以上の高齢者世帯に黄色のタオルを順次配布しています。災害が発生したときに、このタオルを玄関先に掲げることで、周囲に無事を知らせることができます。黄色のタオルが掲げられている世帯は外から一目で無事と把握できるため、自主防災組織等では早期に安否確認が可能となります。

また、このタオルに避難場所を記入することで、避難先を周囲に知らせることができます。

本通行政区では、4月から自主防災組織を立ち上げ、自助、共助の活動を一層推進します。



自 クラウドを活用して遠隔の学校と交流 自然災害から身を守るために

2月19日（金）、クラウドとTV会議システムを用いた『防災学習授業』が、占冠中央小学校・共和町立北辰小学校・苫小牧市立ウトナイ小学校の3校合同で開催されました。合同授業では、各地域で発生し得る自然災害や身の回りの災害対策を発表し、防災に関連したクイズを出題するなどして学校間交流を深めました。児童は、自然災害が自然条件などに関連して発生していることや、自然災害から国民の生活を守るために、国や都道府県などが様々な対策や事業を進めていることを学習しました。



卒業



旅立ちの日
今始まる
希望の道

